

5 9月のダイズ被害をハスモンヨトウのフェロモントラップ累計誘殺虫数で予測

ねらいと成果

加西市における8年間のフェロモントラップによるハスモンヨトウ誘殺状況と、秋期のダイズ被害との関係を検討した。その結果、7～8月の累計誘殺虫数と9月の若齢幼虫の食害による白変葉被害（以下白変カ所数）との間に高い相関が認められ、7～8月の累計誘殺虫数から9月のダイズ被害を予測できることが明らかとなった。

内容

1991年から1998年までの8年間、5月から11月まで、加西市に設置したフェロモントラップの5日毎の誘殺調査結果より累計誘殺虫数を算出した。ダイズの被害については、卵塊からふ化した若齢幼虫による食害カ所数（遠目には白く抜けたように見える部分）を白変カ所数として調査し、1aあたりに換算した。6月、7月、8月、6～7月、7～8月の累計誘殺虫数と、8月および9月の県下32～36カ所のは場における白変カ所数との間の相関係数を比較

した。その結果、9月の白変カ所数に対し、最も有意で高い相関がみられたのは7～8月の累計誘殺虫数間で、ついで6～7月であった（表1、図1、図2）。従って、7月末には6～7月の累計誘殺虫数により9月の白変カ所数を予測でき、8月末には7～8月の累計誘殺虫数によってさらに高い確率で予測できることが明らかとなった。

9月の白変カ所数が0となる累積誘殺虫数は6～7月が14頭、7～8月が15頭であり、これ以下の誘殺虫数であれば防除は必要ない。また、9月の白変カ所数が1.0となる6～7月、7～8月の累計誘殺虫数はそれぞれ198頭、472頭であり、これ以上の誘殺が認められた場合は多発生が予測される（表2）。

普及上の注意事項

ほ場によって幼虫の発生が異なるため、多発生が予測されても、各ほ場の発生状況を確認してから防除指針に基づいて防除する。

田中 尚智（病害虫防除所）

表1 累計誘殺虫数と白変カ所数との関係

白変カ所数	累計誘殺虫数				
	6月	7月	8月	6～7月	7～8月
8月	-0.016	0.956**	0.708	0.896*	0.824
9月	0.234	0.926**	0.909*	0.929**	0.945**

t-検定 (**: 0.1%水準で有意 *: 1%水準で有意)

表2 9月の被害と累計誘殺虫数との関係

9月白変カ所数	6～7月累計誘殺虫数	7～8月累計誘殺虫数
0	14	15
0.5	106	244
1.0	198	427
1.5	290	700

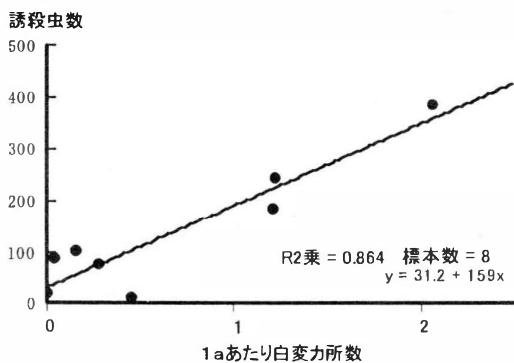


図1 6～7月累計誘殺虫数と9月被害との関係

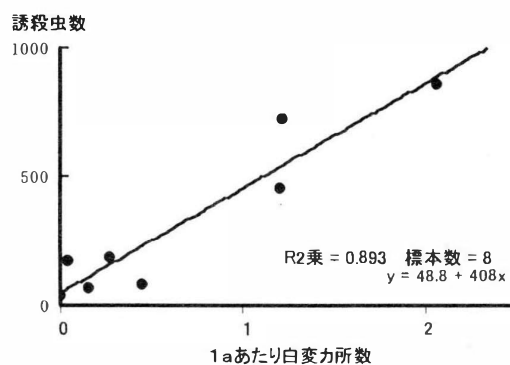


図2 7～8月累計誘殺虫数と9月被害との関係